※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「詳述　政治経済」　（実教出版）						
副教材等	「２０２３ズームアップ政治・経済資料」　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本や世界の政治・経済等に対して多様な角度からとらえ、自己の問題意識とつなげて思考を深められるようになってほしい。世の中で起きている出来事や事件・事故など主体的にとらえ、学習内容とつなげられるように広い視野を持って学習に取り組むようにしてください。

2　学習の到達目標

・社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。
・よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	経済社会の変容	1. 経済活動の意義 2. 経済社会の形成と変容	a:・経済活動について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代日本の経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 b:・経済活動について多面的・多角的に考察し，表現させる。 c:・現実社会の諸課題について主体的に追究して，経済社会の変容における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・よりよい社会の実現のために，経済社会の変容とその課題について多面的・多角的に考察，構想したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 準拠演習ノート	定期考査，レポート ノート 準拠演習ノート	活動の様子の観察 レポート 口頭発表 ふりかえりシート

※令和４年度以降入学生用

	現代経済のしくみ	1. 市場機構 2. 現代の企業 3. 国民所得と経済成長 4. 金融のしくみ 5. 財政のしくみ	a: ・経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動，財政の働きと仕組み及び租税などの意義，金融の働きと仕組みについて，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代日本の経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 b: ・市場経済の機能と限界，持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c: ・現実社会の諸課題について主体的に追究して，現代経済のしくみにおける学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・よりよい社会の実現のために，現代経済のしくみとその課題について多面的・多角的に考察，構想したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 準拠演習ノート	定期考査，レポート ノート 準拠演習ノート	活動の様子の観察 レポート 口頭発表 ふりかえりシート

※令和４年度以降入学生用

後期	現代経済と福祉の向上	1. 経済の停滞と再生 2. 日本の中小企業と農業 3. 国民の暮らし 4. 環境保全と公害防止 5. 労使関係と労働条件の改善 6. 社会保障の役割	a: ・経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動，財政の働きと仕組み及び租税などの意義，金融の働きと仕組みについて，現実社会の諸事象を通して理解を深めること。 ・現代日本の経済に関する諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 b: ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的･多角的に考察し，表現している。 c: ・現実社会の諸課題について主体的に追究して，現代経済と福祉の向上における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・よりよい社会の実現のために，現代経済と福祉の向上とその課題について多面的・多角的に考察，構想したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 準拠演習ノート	定期考査，レポート ノート 準拠演習ノート	活動の様子の観察 レポート 口頭発表 ふりかえりシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度